

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東京地下鉄株式会社
期間中の総整備費	47,917 百万円
期間中の総徴収額	47,690 百万円
備考	

整備完了実績(設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの)					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	39 駅	81 番線	39 駅	81 番線	100%
エレベーター	3 駅	5 基	3 駅	5 基	100%
エスカレーター	2 駅	15 基	2 駅	15 基	100%
スロープ	1 駅	2 ヶ所	1 駅	2 ヶ所	100%
段差隙間縮小に資する設備	50 駅	107 番線	50 駅	107 番線	100%
バリアフリースイッチ	4 駅	5 ヶ所	3 駅	4 ヶ所	80%
車両のフリースペース	10 編成	80 両	9 編成	70 両	88%
その他		1 式		1 式	
備考	その他:案内サイン、駅情報配信DSP、乗務員支援機能、視覚障害者誘導用ブロック、手すり、バリアフリースイッチ自動ドア化、券売機(フリースペース化) ・ホームドア:新設(21駅45番線)及び延伸(18駅36番線)				

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数		45 番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	3 駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1)設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	39 駅	81 番線	17,662 百万円
エレベーター	3 駅	5 基	3,038 百万円※
エスカレーター	2 駅	15 基	552 百万円※
スロープ	1 駅	2 ヶ所	7 百万円
段差隙間縮小	50 駅	107 番線	693 百万円
バリアフリースイレ	3 駅	4 ヶ所	221 百万円
車両のフリースペース	9 編成	70 両	85 百万円
その他	1 式		174 百万円
備考	その他:案内サイン、駅情報配信DSP、乗務員支援機能、視覚障害者誘導用ブ ロック、手すり、バリアフリースイレ自動ドア化、券売機(フットスペース化)		
	※ 2026年度以降整備完了予定の整備費含む。		
(2)更新費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア※	40 駅	79 番線	2,917 百万円
エスカレーター	17 駅	88 基	5,075 百万円
車両	19 編成	190 両	3,156 百万円
その他	1 式		840 百万円
備考	その他:案内サイン、自動旅客案内装置、運行情報配信設備、可動ステップ		
	※ 本様式記載の整備数を正とする。		
(3)維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			
維持管理費		12,262 百万円	
収受システム改修費		40 百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		1,195 百万円	
備考	維持管理費:ホームドア、エレベーター、エスカレーター、自動旅客案内装置、案内サイン 等		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

【整備完了実績】

◆バリアフリースイレ

人形町駅のバリアフリースイレは、2025年度までに整備予定であったが、整備計画変更により2026年度以降に整備します。

◆車両のフリースペース

東西線05系のフリースペース化は、2025年度に1編成完成予定であったが、国際情勢の影響により材料調達が困難となったため、2026年度以降に整備します。

【更新費】

◆ホームドア

中野坂上駅のホームドアは、2025年度に完了予定であったが、他工事との調整により作業人員の確保が困難となったため、2026年度以降に更新します。